

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

学校名	嬉野市立轟小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し確実に定着を図る学習と、自分の思いや考えをお互いに出し合う「学び合い」活動を日常の授業にしっかり位置づけて、更に継続して取り組む必要がある。</li> <li>・相手意識が希薄で、自分本位の言動も散見されることから、公共性、社会性を育てるとともに、自ら考えて行動する機会を増やし、更に、自立した態度や行動がとれるようにする。</li> <li>・学校運営協議会や轟・大野原コミュニティとの連携を更に深め、地域人材を活用したり、児童が地域に出ていくような活動を推進する必要がある。</li> </ul>
2 学校教育目標	夢をもち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 主体的な学びと豊かな表現力の育成</li> <li>② 心に響く生徒指導及び特別支援教育の充実</li> <li>③ 健康で、逞しい体づくり</li> <li>④ 校区小中学校、地域コミュニティとの連携強化による教育活動の充実</li> </ol>

				中間評価		主な担当者
(1)共通評価項目						
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取り組みの促進を図る。	A	・学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師は100%だったことから、今後もこの取り組みを継続していく。	◎学力向上対策コーディネーター ・研究主任 ・しっかりと学ぶプロジェクト
	○問題解決能力の育成	○「友達と話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童80%以上	・話し合う活動の場の設定や考えを発表したり書いたりすることができるような支援を行う。	A	・友達と話し合う活動に関するアンケート調査で肯定的な回答をした児童が82%だったことから、今後も自分の成長や高まりを実感できるような教師による承認、称賛、励ましを継続していく。	◎研究主任 ・学力向上対策コーディネーター ・しっかりと学ぶプロジェクト
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・道徳教育や体験学習、奉仕体験などの様々な活動を通じた指導の充実を図る。 ・自分の成長や高まりを実感できるようなかかわりや声かけ(教師の評価)を行う。	A	・すべてのクラスで80%以上の児童が、道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をしたことから、今後も自分の成長や高まりを実感できるような教師による承認、称賛、励ましを継続していく。	◎道徳教育推進教師 ・いたわる心プロジェクト
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教師80%以上	・いじめ問題に関する体制を明確にし、報告・連絡・相談を徹底する。 ・必要に応じて、体制の見直しを行い、結果を保護者にも周知する。	A	・いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教師は100%だった。 ・引き続き、疑わしい事案が発生した際は、報告・連絡・相談を密にし、組織的な対応を徹底していく。	◎生徒指導主任 ・いたわる心プロジェクト
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の目標や夢を持っている」と答えた6年生児童80%以上	・体験活動等における「キャリアパスポート」を活用した指導の充実を図る。	・「将来の夢や希望を持っている」というアンケートで肯定的な回答をした児童は100%だった。 ・引き続き、「キャリアパスポート」を活用した指導等を行う。	A	・「将来の夢や希望を持っている」というアンケートで肯定的な回答をした児童は100%だった。 ・引き続き、「キャリアパスポート」を活用した指導等を行う。
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童80%以上	・学校栄養士と担任による食に関する指導、食育時間の取り組みを行う。	A	・すべてのクラスで80%以上の児童が「健康に食事は大切である」と回答した。 ・今後も食に関する学校栄養職員との授業実践を全学年行っていく。	◎食育担当 ・保健主事 ・バランスのよい体プロジェクト
	○運動習慣の改善や定着化	○天気の良い日は、外で遊んだり運動したりする児童が80%以上	・体を動かすことが好きだと思える児童が増えるように体育の授業の充実を図る。 ・週に一回以上は外に出て遊ぶように呼びかける。	B	・天気の良い日は、外で遊んだり運動したりする児童が80%に満たなかったことから、新たに全校児童が遊ぶ日を定期的に実施し、外に出て遊ぶようにすることを促す。 ・体育の授業や放送での呼びかけの充実を図ることを継続する。	◎体育主任 ・保健主事 ・食育担当 ・バランスのよい体プロジェクト
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。(月45時間)	・タイムマネジメントを意識し、業務の効率化へ向け、一人一人の働き方を見直す。 ・定時退勤日、学校閉庁日の設定と徹底。	B	・全職員の時間外勤務時間の平均約31時間であり、優先順位を決めて仕事の効率化を図る教職員の意識が高い。 ・教職員への業務効率化への声かけや年休が取りやすい雰囲気づくりに努め、定時退勤日での退勤の一層の徹底を図る。	◎管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目						主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	
○小中連携	○小中連携による学力向上の推進	○小中学校区で定めた学力向上の取り組みを達成した教師80%以上	・「授業づくりステップ1・2・3」を活用したわかる授業の確実な実施を図る。 ・基礎・基本の定着と活用力を伸ばす課題づくりと実践に取り組む。	A	・小中学校区で定めた学力向上の取組を達成した教師は100%であり、小中連携研修会や他校の授業研究会を通して、今後も共通した実践に取り組んでいく。	
○保護者、地域との連携	○学校運営協議会を通じた保護者と地域の連携強化	○保護者や地域と連携した学校の教育活動に肯定的な回答をした保護者や地域の方の割合80%以上	・児童による地域貢献活動等、地域コミュニティとの連携した地域ぐるみの学校づくりに努める。	A	・保護者や地域に各種の便りを発行したり、マチコメールやHP等を活用したりして、教育実践を周知させた。 ・引き続き、相互の連携を意識した活動に取り組んでいく。	◎管理職
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上した教師80%以上	・特別支援教育に関わる研修を年1回以上実施する。 ・支援の実態や状況を全教職員で共有し、個別の支援を徹底する。	A	・「特別支援教育に関する専門性が向上した」と回答した教師は100%だったことから、今後もSO等を活用した研修を継続的に行ったり、文科省作成のリーフレット等を活用したりしながら、専門性を高める。	◎教育相談 ◎特別支援教育コーディネーター

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育